

東北地方鉱山保安表彰選考基準

制定 20131017産保東第3号
平成25年10月22日
改正 20160415産保東第2号
平成28年4月18日
改正 20191114産保東第11号
令和元年12月24日

東北地方鉱山保安表彰の選考に当たっては、東北地方鉱山保安表彰実施要領（平成25年10月22日付け20131017産保東第3号）に基づき2.の被表彰者選考評価基準（別紙）により各部門別に審査し、推薦書、推薦事由書、調査書等を勘案の上、被表彰者を選考する。

記

1. 表彰対象

表彰対象は、東北地方鉱山保安表彰実施要領に基づき推薦されたもの及び関東東北産業保安監督部東北支部長が選定した被推薦者の中から次のものを対象とする。

(1) 鉱山の部（附属施設、休止鉱山を含む。以下同じ。）

最近5年間に鉱山保安法施行規則（平成16年経済産業省令第96号）第46条第1項（第4号、第18号から第20号まで及び第22号を除き、第2号については3日以上の上の休業災害に限る。）に係る災害、事故その他の事象が発生していない鉱山であって、原則として過去5年間に東北地方鉱山保安表彰を受けていないものを表彰の対象とする。

(2) 保安責任者の部

鉱業権者、保安統括者又は保安管理者として、現在在職中の者又は過去において在職した者で、かつ最近5年間に軽傷以上の災害がない又は鉱害を発生させてない者を表彰の対象とする。

(3) 保安従事者の部

作業監督者又は鉱山労働者として、現在在職中の者又は過去において在職した者で、

かつ最近5年間に軽傷以上のり災がない又は鉱害を発生させてない者を表彰の対象とする。

(4) 保安功労・貢献者の部

①保安功労者

(2)、(3)以外の者で、鉱山保安のために貢献し、特に顕著な功労があった者を表彰の対象とする。

②救護隊員

(2)、(3)以外の者で、災害の拡大防止若しくは人命救助等により鉱山保安の確保に貢献し、又は永年救護隊員として鉱山保安の確保に尽力し、かつ、日常における行為が他の鉱山労働者の模範となると認められる者を表彰の対象とする。

③家庭

(2)、(3)以外の者で、永年無事故で勤続している鉱山労働者の家庭であって、一丸となって鉱山の保安について特別の関心を有し、その啓蒙に努めるとともに、家庭円満で表彰に値すると認められる者を表彰の対象とする。

④団体

鉱山保安の確保、環境保全等に、特に顕著な貢献をしたと認められる協会、救護隊、事業所又は自治体等を表彰の対象とする。

(5) 特別功労・貢献者の部

当分の間、(1)～(4)のほか、特にリスクマネジメント手法の導入の模範となるなど改正鉱山保安法の定着に顕著な貢献があった鉱山、個人又は団体を表彰の対象とする。

2. 被表彰者選考評価基準

(別紙)

3. 審査選考

別紙の被表彰者選考評価基準の各項目について審査し、次の評点に該当する者について、その者の推薦書、推薦事由書、調査書等を勘案の上、被表彰者を決定する。

(表彰対象区分)

(評点)

(1) 鉱山の部

151点以上

| | |
|--------------------------|-------|
| (2) 保安責任者の部 | 88点以上 |
| (3) 保安従事者の部 | 86点以上 |
| (4) 保安功労・貢献者の部 | |
| ①保安功労者 | 62点以上 |
| ②救護隊員 | 66点以上 |
| ③家庭 | 86点以上 |
| ④団体 | 91点以上 |
| (5) 特別功労・貢献者の部 | |
| ①鉦山（鉦山保安マネジメントシステムに係るもの） | 65点以上 |
| ②①以外 | — |

[評点の算定について]

(1)～(5)①は、上限値等の65パーセントとした。

(1) 鉦山の部

$$233点 \times 0.65 = 151点$$

(2) 保安責任者の部

$$135点 \times 0.65 = 88点$$

(3) 保安従事者の部

$$131点 \times 0.65 = 86点$$

(4) 保安功労・貢献者の部

 ①保安功労者

$$95点 \times 0.65 = 62点$$

 ②救護隊員

$$101点 \times 0.65 = 66点$$

 ③家庭

$$131点 \times 0.65 = 86点$$

 ④団体

$$140点 \times 0.65 = 91点$$

(5) 特別功労・貢献者の部

 ①鉦山（鉦山保安マネジメントシステムに係るもの）

$$100\text{点} \times 0.65 = 65\text{点}$$

②①以外については、定量的に評価することは困難であり、評点を掲げないこととした。

4. 欠格条項

次の（１）から（３）のいずれかに該当するものは原則として審査の対象から除く。なお、（１）又は（２）を１．（２）から（５）までの個人に適用する場合は、表彰対象者が違反等の原因である場合又は表彰対象者が違反等の原因に関する責任的立場にある場合とする。

- （１） 現に表彰対象の鉱山が法令違反の状態にあるもの又は過去５年以内に当該法令違反により命令、取消し、罰則等の処分を受けたもの若しくはそれに類するもの。
- （２） 他法令の違反、刑事事件を起こし、表彰するにふさわしくないもの。
- （３） 勲章を受けた者、鉱山保安に関する功労により褒章を受けた者及び近く叙勲の候補者となる得る者。

附 則

- 1 この規程は平成２５年１０月２２日から施行する。
- 2 東北地方鉱山保安表彰選考基準（20120919 産保東 24 号）は、廃止する。
- 3 この規程の施行前に東北地方鉱山保安表彰選考基準（20120919 産保東 24 号）の規程により表彰の推薦、審査又は決定を受けている者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則（２０１６０４１５産保東第２号）

- 1 この規程は平成２８年４月１８日から施行する。

附 則（２０１９１１１４産保東第１１号）

- 1 この規程は令和元年１２月２４日から施行する。

(別紙)

東北地方鉱山保安表彰者選考評価基準

～鉱山～

1. 無災害（鉱害）実績

(1)無災害（鉱害）期間

①無災害（鉱害）期間（※）

| | |
|------------|----------------------------|
| 5年まで | 1年につき1点（1年未満切り捨て） |
| 5年から10年まで | 1年につき2点（半年毎に1点。半年未満切り捨て） |
| 10年から15年まで | 1年につき3点（4ヶ月毎に1点。4ヶ月未満切り捨て） |
| 15年以上 | 30点（1点×5年+2点×5年+3点×5年） |

②無災害稼働延時間

| | |
|---------|----------------|
| 5万時間未満 | 0点 |
| 5万時間毎 | 3点（5万時間未満切り捨て） |
| 50万時間以上 | 30点 |

（※）表彰年の前年の12月末までの期間・時間を算出するものとする。

(2)鉱山の格付け

①危害

鉱山保安法施行規則第3条から第11条まで、第13条から第16条まで及び第29条の該当条数（A）

②鉱害

鉱山保安法施行規則第11条、第14条、第18条から第22条まで、第24条及び第25条の該当条数（B）

◎無災害等実績点数

{(1)①災害×(1+(A)×0.1)} + {(1)①鉱害×(1+(B)×0.1)} + (1)②=点数

2. 関連事項（はい1つ5点）

- ①過去10年以上死亡災害を生じていない。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ②過去10年以上重大な法規違反（鉱山（法人）として送致、産業保安監督部長（那覇産業保安監督事務所長を含む。以下「監督部長」という。）による行政処分）がない。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ③過去5年以上社会的影響の大きい問題等発生していない。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ④昨年、地方表彰に推薦した。（未受賞）

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ⑤過去5年間、他の団体等から表彰を受けたことがある。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ⑥リスクマネジメント手法を積極的に導入し、他の鉱山の模範となっている。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ⑦現況調査がリスクアセスメントにより確実に実施されている。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ⑧リスクマネジメント（システム）が鉱山労働者まで浸透している。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ⑨保安教育の年間計画は策定され、定期的実施している。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ⑩各作業の作業手順、規定等整備されている。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ⑪保安技術の改善、災害及び鉱害の防止並びに保安教育の推進が他の鉱山の模範となっている。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ⑫監督部等に報告する事項等（月報等の報告）については、いつも遅滞ない。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|
- ⑬保安研修・講演会に積極的に人を派遣している。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|

1. + 2. = 点

～保安責任者（鉱業権者・保安統括者・保安管理者）～

(1) 当該職経験年数 (※1) (※2)

1年毎に1点（1年未満切り捨て。以下同じ）

(2) 無災害稼働延時間 (※1) (※2) (※3)

| | |
|---------|----------------|
| 5万時間未満 | 0点 |
| 5万時間毎 | 3点（5万時間未満切り捨て） |
| 50万時間以上 | 30点 |

(※1) 表彰年の前年の12月末までの期間・時間を算出するものとする。

(※2) 当該者が保安責任者として従事した期間（複数の鉱山で保安責任者として従事していた場合は、それぞれの鉱山での在籍期間を合算する。）を計上するものとする。

(※3) 当該者が無災害であるだけでなく、当該者が監督する鉱山全体が無災害であった期間を計上するものとする。

(3) 関連事項（はい1つ5点）

- | | | |
|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ①当該鉱山は坑内採掘を主としている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ②過去10年以上重大な法規違反（送致、監督部長による行政処分）がない。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③過去5年間、地方表彰に推薦したことがある。（未受賞） | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④過去5年間、他団体から表彰を受けたことがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑤当該職に就いてから軽傷以上の災害が発生していない。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑥他鉱山からの要請により保安確保のための指導を行ったことがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑦リスクマネジメント手法を積極的に導入し、他の鉱山の模範となっている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑧現況調査をリスクアセスメントにより確実に実施している。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑨リスクマネジメント（システム）を鉱山労働者まで浸透させている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑩保安教育の年間計画を策定し、定期的実施している。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑪保安運動の企画・立案をし、積極的に推進している。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑫保安週間に際し、積極的に自主保安活動を推進している。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑬保安技術の改善、災害・鉱害の防止に積極的に取り組んでいる。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑭監督部の保安指導員あるいは、委員会等に選任されている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

(1) + (2) + (3) =

点

～保安従事者（作業監督者・鉱山労働者）～

(1) 鉱山の保安に関する鉱業経験年数（1年未満切り捨て。以下同じ）（※1）（※2）

1年毎に1点

(2) 無災害期間（職務範囲内軽傷以上災害）（※1）（※2）（※3）

1年毎に1点

（※1）表彰年の前年の12月末までの期間・時間を算出するものとする。

（※2）当該者が保安従事者として従事した期間（複数の鉱山で保安従事者として従事していた場合は、それぞれの鉱山での在籍期間を合算する。）を計上するものとする。

（※3）当該者が無災害であるだけでなく、当該者の職務範囲において（軽傷以上の）災害への重大な関与がないこと。

(3) 関連事項（はい1つ5点）

- | | | |
|--|--------------------------|--------------------------|
| ①当該職域は主として坑内である。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ②過去10年以上重大な法規違反（送致、監督部長による行政処分）がない。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③過去5年間、地方表彰に推薦したことがある。（未受賞） | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④過去5年間、会社又は他団体から表彰を受けたことがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑤当該職に就いてから過去10年間、軽傷以上のり災及び鉱害を発生させていない。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑥教育の指導員になったことがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑦作業監督者である又は過去保安技術職員であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑧鉱山労働者代表又は保安委員会委員になっている若しくは委員であった。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑨保安教育、保安運動に積極的に参加している。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑩職場の保安改善提案等、積極的に取り組んでいる。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑪他の鉱山労働者の模範となっている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

(1) + (2) + (3) = 点

～保安功労・貢献者（保安功労者）～

(1) 功労・貢献年数^(※)

1年毎に3点（1年未満切り捨て。以下同じ）

(※) 表彰年の前年の12月末までの期間を算出するものとする。

(2) 保安行政貢献度（会議等出席回数、指導回数等）

1回毎に1点

(3) 関連事項（はい1つで5点）

- | | | |
|--|--------------------------|--------------------------|
| ①過去5年間、地方表彰に推薦したことがある。（未受賞） | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ②過去5年間、他団体等から表彰を受けたことがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③保安技術の向上、研究会、保安の教育に関し、指導助言をし、鉾山保安のために 尽力している。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④監督部の保安指導員、保安技術講習講師等を務めたことがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑤他鉾山からの要請により保安確保のための指導を行ったことがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑥海外関係の保安技術指導・調査等を行ったことがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑦鉾山保安行政に関しての審議会、委員会等の委員に委嘱されている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑧保安運動、保安の教育、保安週間に関し、推進に尽力している。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑨保安技術の改善又は災害及び鉾害の防止に関し、積極的に取り組んでいる。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

(1) + (2) + (3) = 点

～保安功労・貢献者（救護隊員）～

(1) 当該職経験年数^(※)

1年毎に2点（1年未満切り捨て。以下同じ）

(※) 表彰年の前年の12月末までの年数を算出するものとする。

(2) 出動回数

1回毎に3点

(3) 関連事項（はい1つ5点）

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ①過去5年間、地方表彰に推薦したことがある。（未受賞） | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ②会社又は他団体から表彰を受けたことがある。（救護隊永年勤続表彰も含む。） | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③当該職に就いてから過去3年間、軽傷以上のり災はない。（出動時を除く） | | |
| ④災害に際し、人命救助等の行為をしたことがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑤保安教育に積極的に参加している。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑥KYT等の保安運動に積極的に取り組んでいる。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑦後輩の指導等に積極的に取り組んでいる。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑧他の鉾山救護隊員の模範となっている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑨救急法の資格を持っている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

(1) + (2) + (3) = 点

～保安功労・貢献者（家庭）～

(1) 鉱山の保安に関する鉱業経験年数^(※)

1年毎に1点

(2) 無災害期間（家庭内資源開発事業者の軽傷以上災害）^(※)

1年毎に1点×{1+資源開発従事者数（除く本人）×0.25}

(※) 表彰年の前年の12月末までの年数・期間を算出するものとする。

(3) 関連事項（はい1つ5点）

① 当該職域は主として坑内である。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|

② 過去5年間、地方表彰に推薦したことがある。（未受賞）

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|

③ 過去5年間、会社又は他団体から表彰を受けたことがある。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|

④ 当該職に就いてから過去5年間、軽傷以上のり災及び鉱害を発生させていない。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|

⑤ 教育の指導員になったことがある。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|

⑥ 保安教育、保安運動に積極的に参加している。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|

⑦ 職場の保安改善提案等、積極的に取り組んでいる。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|

⑧ 他の鉱山労働者の模範となっている。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|

⑨ 作業監督者である。

| | |
|----|-----|
| はい | いいえ |
|----|-----|

(1) + (2) + (3) = 点

～保安功労・貢献者（団体）～

(1) 保安の取り組み（鉱山保安の確保、環境保全等）

- | | | |
|----------|---------|-----|
| ①危害又は鉱害 | A：とくに優秀 | 30点 |
| | B：優秀 | 15点 |
| | C：普通 | 5点 |
| ②保安技術 | A：とくに優秀 | 30点 |
| | B：優秀 | 15点 |
| | C：普通 | 5点 |
| ③保安行政貢献度 | A：とくに優秀 | 30点 |
| | B：優秀 | 15点 |
| | C：普通 | 5点 |

(2) 関連事項（はい1つ10点）

- | | | |
|---|-----------------------------|------------------------------|
| ①過去5年間、地方表彰に推薦したことがある。（未受賞） | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ②過去5年間、他の団体等から表彰を受けたことがある。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ③鉱山等からの要請により保安確保のための業務等、保安指導を行っている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ④保安技術の改善、災害及び鉱害の防止並びに保安教育の推進に積極的であり、他の団体等（法人）の模範となっている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ⑤監督部の保安指導員あるいは、委員会等、保安技術職員研修に関する研修・講演会に積極的に人を派遣している。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |

(1) + (2) = 点

～特別功労・貢献者[鉱山（鉱山保安マネジメントシステムに係るもの）]～

1. 基本的な実績（必須）

- ①最近5年間に鉱山保安法施行規則第46条第1項（第4号、第18号から第20号まで及び第22号を除き、第2号については3日以上休業災害に限る。）に係る災害、事故その他の事象が発生していない。 はい いいえ
- ②過去10年以上死亡災害及び重大な法規違反（鉱山（法人）として送致、監督部長による行政処分）がない。 はい いいえ
- ③過去5年間以上社会的影響の大きい問題等が発生していない。 はい いいえ

2. 鉱山保安マネジメントシステムに関する実績（はい1つ10点）

- ①保安方針を定め、鉱山内に掲げている。 はい いいえ
- ②達成可能な保安目標を掲げている。 はい いいえ
- ③保安目標を達成するための手段が保安計画に示されている。 はい いいえ
- ④保安計画について、達成状況の評価結果を踏まえ、改善されたものになっている。 はい いいえ
- ⑤保安目標について、達成状況の評価結果を踏まえ、改善されたものになっている。 はい いいえ
- ⑥過去5年間、国に鉱山保安マネジメントシステムに関する事例（望ましくない事例を除く。）を提供し、水平展開されたことがある。 はい いいえ
- ⑦過去5年間、鉱業権者又は鉱山労働者が鉱山保安マネジメントシステムに関し、他の鉱山を指導したことがある。 はい いいえ
- ⑧リスクアセスメントの充実等に関し、その取組が前々年度、前年度よりも改善している（前年度のみは5点）。 はい いいえ
- ⑨マネジメントシステムの構築等に関し、その取組が前々年度、前年度よりも改善している（前年度のみは5点）。 はい いいえ
- ⑩鉱山保安マネジメントシステムの構築・有効化に関する取組について、リスクアセスメントの充実等及びマネジメントシステムの構築等に関し、いずれも前々年度、前年度よりも改善している（前年度のみは5点）。 はい いいえ

2. = 点